

令和5年度(2023年度)

豊能町立光風台小学校 学校評価報告書

本校の学校教育目標

すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

◎ めざす子どもの姿

積極的に人とつながり合う子

人の意見を素直に聞ける子

自分も他の人も大切にすること

やってみようと行動することができる子

目標に向かって、あきらめずに最後まで努力できる子

◎ 重点目標

- 自分も他の人も大切に、積極的に人とつながり合う児童の育成
- 自ら考え、失敗を恐れずに挑戦できる児童の育成
- 目標に向かって、あきらめずに最後まで努力できる児童の育成

◎ 教育目標、重点目標達成のための具体的な取組

①・「書く力（どのように書くか）」をテーマに、

「ルーブリック評価」を活用した授業づくり (学力向上)

・自分の身を自分で守ろうとする、体を大切にする、元気でたくましい児童の育成

(健康・体力)

②自分も他の人も大切に、積極的に人とつながり合おうとする児童の育成

(豊かな人間性)

③保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携

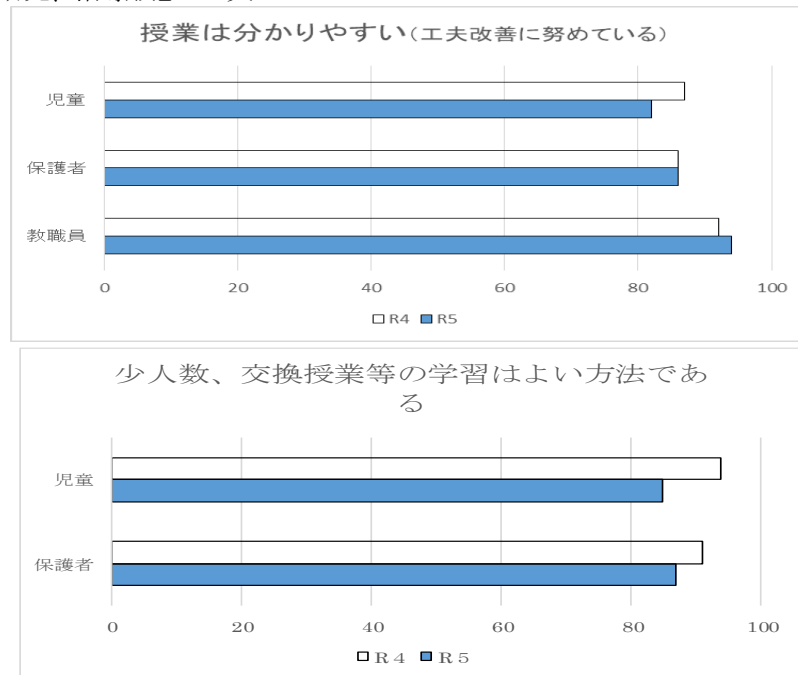
(安心・安全) (開かれた学校づくり)

令和5年度(2023年度) 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書(その1)

<p>① 設定目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く力(どのように書くか)」をテーマに、「ルーブリック評価」を活用した授業づくり ・自分の身を自分で守ろうとする、体を大切にする、元気でたくましい児童の育成 (学力向上) (健康・体力)
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>【学力向上】</p> <p>①授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>校内授業研、研究協議会</u>。授業公開。授業評価等の研修。国語、算数を中心に研究を進める。 ・<u>講師招へい研修(国語科、体育科、支援教育、タブレット活用、生徒指導等)</u> <p>②指導形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数等での<u>少人数指導、T.Tによる指導</u>、3～6年外国語でALT等に加えて担任等が指導、複数学級学年での交換授業、合同授業 <u>・タブレットを活用した授業づくり</u> <p>③光小スタンダードによる学習規律の確立 <u>・「ルーブリック評価」を活用した授業</u></p> <p>④<u>一斉朝読書を中心とした読書推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書、図書委員会による本の紹介、高学年による低学年へ本の読み聞かせ ・学級文庫の設置、司書やサポーターによるブックトーク ・教科横断的な図書館活動の充実 <p>⑤学力調査等の結果分析と指導改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>全国学力・学習状況調査(4月18日)</u>・府すくすくウォッチ(4月18日)・校内学力実態調査(全学年毎学期実施)・とよのチャレンジ実施(12月5日)・力試しテスト(2月)・授業アンケート <p>⑥放課後(わくわく教室)事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回(火・金)運動場遊び(雨天時:教室で宿題) <p>⑦今年度の外国語活動・外国語授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～2年は年間10時間程度、3～4年は年間35時間、5～6年は年間70時間程度の外国語活動・外国語(英語)の授業 <p>⑧<u>「家庭学習のてびき」を保護者に配付。学校教育内容について、保護者と共有した。</u></p> <p>⑨<u>タブレットの持ち帰り、授業での活用を推進した。</u></p> <p>【健康・体力】</p> <p>①<u>運動会、水泳指導などの学校行事、授業を通じた体力づくり、体力テスト2回実施</u></p> <p>②児童会行事、委員会活動等遊びによる体づくり活動</p> <p>③食育の推進(栄養教諭による食育指導 保健給食委員会の活動推進)</p> <p>④保健指導の推進(給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進)</p> <p>⑤<u>ひかり幼稚園との運動づくり・体育の連携 体育支援員の配置(コスモスポーツ)</u></p>

【学校教育自己診断の結果および全国学力・学習状況調査の結果】

○授業研究、指導形態の工夫



(※グラフは学校教育自己診断において、肯定的意見をまとめた数字です。以後、同様。)

アンケート結果から、「授業はわかりやすい(児童、保護者)」「授業の工夫改善に努めている(教職員)」の肯定的意見の回答が児童以外増加した。「書くこと」をテーマに「ループリック評価(学習のゴールや学習目標等が書かれたもの)を活用した授業づくりの取組み等が少しずつ効果を発揮しつつあるが、児童の実感にまで届いていないようだ。校内アンケートで「国語の授業が好きだ(64%⇒79%)」「国語の授業で学んだことを他教科でも活用している(83%⇒87%)」とそれぞれ昨年度と比べて肯定的な回答が増加した。また、「少人数指導や交換授業」について児童および保護者の肯定的意見の回答がともに減少した。個々の児童の状況に合わせたにきめ細かい指導がより一層必要であると感じている。合わせて、保護者の方々には授業参観等で参観していただけるように情報発信していきたい。

今年度も校内研究を数多く行った。

国語科・・・増田ゆか氏(大阪学院大学短期大学)

体育科・・・高木卓也氏(コスモスポーツ)

支援教育・・・大久保賢一氏(本校S SW)

タブレット活用・・・スマイルネクスト(ドリル)担当者

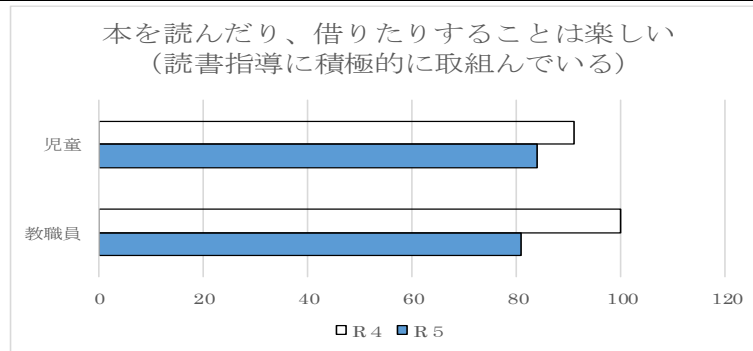
生徒指導・・・町教委指導主事



これらの講師から伝達いただいた内容を個々の教員が、日々の学習指導や生活指導につなげていくことができた。

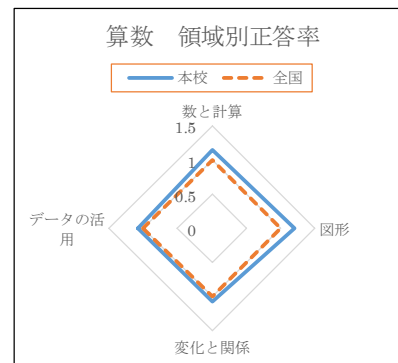
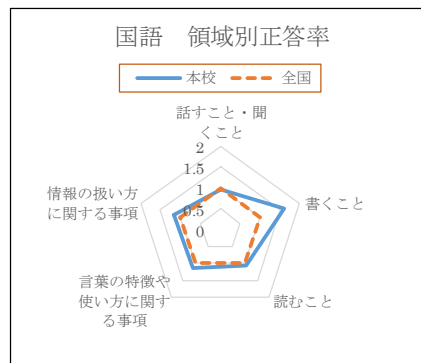
○一斉朝読書を中心とした読書推進

児童および教職員のアンケート結果から、児童ならびに教職員ともに「読書指導を積極的に進めている」の肯定的意見の回答が減少した。取組みとしては、司書教諭ならびに図書館司書が連携し、学級文庫の内容やおすすめの本紹介等も含めて本に親しめる活動を推進。図書委員会の活動が活発に行うことができた。来年度に向けて、今年度の取組みをふり返り、学校全体での読書指導の取組みを考え、すべての児童がさらに本を「読みたい」「借りたい」と思うような児童を育てていきたい。



○学力調査等の結果分析と指導改善

- ・全国学力・学習状況調査 (4月18日) ・府すくすくウォッチ (4月18日) ・校内学力実態調査 (全学年毎学期実施) ・とよのチャレンジ実施 (12月5日) ・力試しテスト (2月) ・授業アンケート。



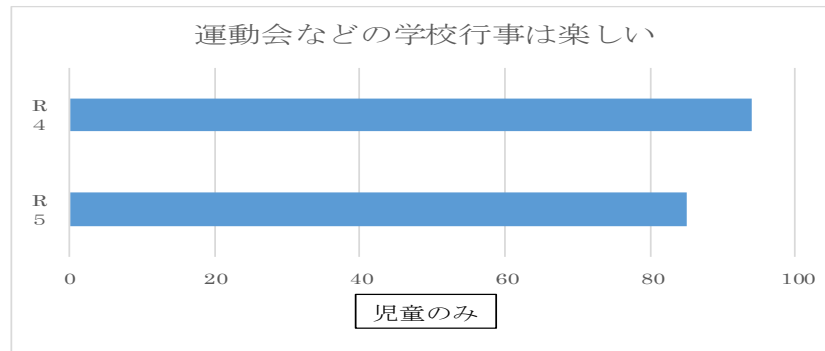
全国学力・学習状況調査 領域別正答率 (実線—本校平均、点線—全国平均)

今年度も「全国学力・学習状況調査」「大阪府すくすくウォッチ」を同日、「とよのチャレンジ(町独自の調査)」は1～6年対象に12月に行った。全国学力・学習状況調査の結果は、国語・算数ともに全国平均を上回った。特に課題だった国語の「書くこと」の領域は全国平均を16ポイント上回った。その他のテストも高学年は、各教科の基礎基本の定着は見られた。各児童の結果は、それぞれ2学期の始めや2月頃に返却した。年度末までに児童の結果を踏まえて、児童の理解がなかなか進んでいない学習について繰り返し指導を行っていき、最後まで定着を図っていきたい。

○「家庭学習のてびき」を保護者に配付。これまで教職員で共有していた学校教育内容をまとめたものを、保護者向けに分かりやすく作り直し、保護者と共有した。こうしたことを継続していくことで、学校と家庭で同じ方向性を持って学習指導を進めていくことのきっかけを作ることができたのではないかと考えている。

○タブレットの持ち帰り、授業での活用を推進した。1人1台タブレットを配付いただいたから2年。本校は全国平均に比べて活用頻度が低い状態であることが分かった。そこで、まずは児童が家庭にタブレットを持ち帰って活用することからはじめ、授業でも活用していく頻度を高めることを目標に取り組みをすすめ、活用頻度を高めることができた。

(健康・体力)
○運動会等の実施



アンケート結果から、運動会などの学校行事について、児童の肯定的評価が昨年より減少した。これはコロナ禍後、全校で行う2回目の運動会であったため、昨年ほどの喜びや達成感が実感としてなかったのではないかと考えられる。また、学習発表会を11月に行なったが、参観いただいた保護者や地域の方々から大変よかったという評価をいただいた。どちらの行事もサポートボランティアやPTA役員のお力もお借りしながら開催することができた。今後も今回の開催方法を基本に、内容をさらに充実したものになるよう、児童の主体性と達成感をさらに引き出しながら取組んでいきたい。

○ひかり幼稚園との運動づくり・体育の連携、体育支援員（コスモスポーツ）の配置

豊能町の義務教育学校開校を見据えて、一昨年度より隣接する「ひかり幼稚園」の運動づくりと小学校低学年の体育との連携の取組みを進めている。今年度も、体育支援員（町派遣）に支援いただきながら、テーマを「柔軟性」として、年間3回「1年生と年長さんの合同授業」実践を行った。今年度は、小・中学校のカリキュラムの中に、幼稚園・小学校の連携から見えてきた運動遊びを取り入れていってはどうかという提案をしていくことができた。

○体力調査（年2回）および朝の会の遊び等による体づくり活動

体力テスト2回（1学期・3学期）、毎週金曜日に朝の会にクラス遊び、学期に一回登校班遊び。休憩時間には、鉄棒やその他の遊具、3学期はなわとび、ランニングを中心に子どもたちが積極的に体づくりのための活動を行うことができた。

○保健指導の推進（給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進）

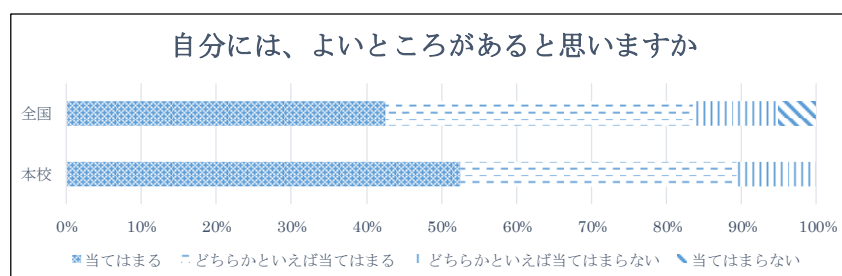
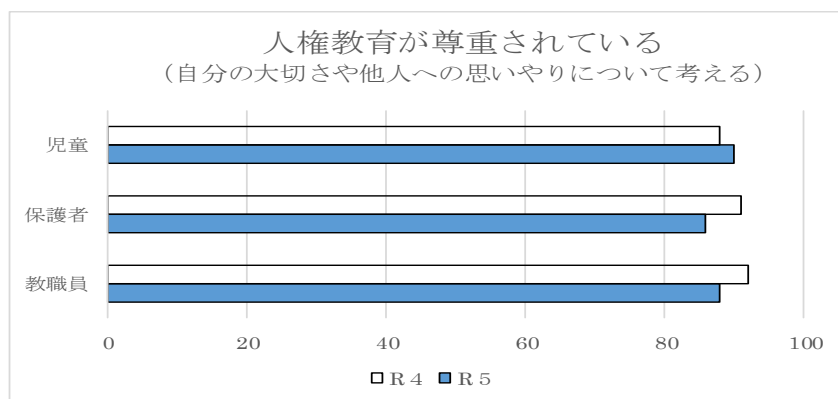
保健指導や授業の充実を行った。学期ごとの身体測定では、人権教育を意識した「子どもの権利条約」の解説や自分自身を大切にするための心構え等の講話を取り入れた。また、保健日より（HPにもアップ）を中心に保護者への情報発信についても積極的に行うことができた。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）</p>	<p>○：「家庭学習の手引き」の配付はよかったと思います。学校と家庭が同じ方向に向かっていくので効果が上がるでしょう。</p> <p>○：体育支援員の配置も専門家の知恵を借りるという意味で良かったと思います。</p> <p>○：成果がでてきているが、たくさんの取組みを進めていくのに、時間が足りないのではないか。</p> <p>●「授業が分かりやすい」「少人数指導はわかりやすい」の児童評価が減少している。子どもの意欲を引き出す学習指導が必要ではないか。</p> <p>●：全国学力・学習調査との比較も大切であると思うが、さらなる指標を設けて、学校独自で取り組んでいく必要があるのではないか。</p> <p>●本を読むことについての児童評価も減少している。学校全体での取組みを進めていく必要があるのではないか。</p> <p>☞：視力の低下を防ぐための対策が必要だと思います。授業や家庭でもタブレットとの距離を取る事と焦点の位置を変えること（遠くを見る時間をとる）の工夫をお願いします。青年でもスマホの見過ぎで回復不能な視力障がい起きる事例が報告されています。学期ごとに視力検査をされてはいかがでしょうか。</p>
---	---

○：高評価 ●：課題 ☞：提言

<p>① 設定目標</p>	<p>自分も他の人も大切にし、積極的に人とつながり合おうとする児童の育成 (豊かな人間性)</p>												
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>【豊かな人間性】</p> <p>①<u>定期的な全体ケース会議</u>、毎学期1回のいじめ・体罰アンケート、児童会・委員会等の充実</p> <p>②人権・道徳をテーマにした(集団づくり)に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観(道徳含む)</p> <p>③児童会を中心とした朝の挨拶(募金)運動、<u>新しい光小遊び祭り企画・運営</u></p> <p>④係活動や委員会活動等を通じた学校の美的環境づくり</p> <p>⑤花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通じた「いのちの教育」の推進</p> <p>⑥<u>支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、個に応じた指導の実施</u></p> <p>⑦SC・SSW等関係機関と連携した支援対策会議、ケース会議等の実施</p> <p>⑧<u>低・中・高学年での学年人権集会(相互評価)、2学期はじめの『平和学習週間』の取り組み</u></p>												
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>【学校教育自己診断および全国学力・学習状況調査より】</p> <p>○定期的な全体ケース会議、毎学期1回のいじめ・体罰アンケート、児童会・委員会等の充実</p> <div data-bbox="459 1115 1220 1568" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>いじめや体罰のない学校づくりに取り組んでいる</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="359 1594 746 1886" data-label="Image"> </div> <p>アンケート結果から、いじめに対する取り組みについては、昨年度と比べて肯定的な回答が児童はやや減少、保護者・教職員ともにほぼ同様でした。人権教育の取り組みの中で、とりわけいじめ事象への対応が起こった時の迅速な対応はもちろんのこと、本質的ないじめを許さない取り組みをより一層、日常から行っていく必要がある。児童一人ひとりが自分自身を大切に思い、友達を大切にするということを体験的に学ばせることを土台に置きながら、教育活動全体でいじめの事象に対する直接的な取り組みと予防的な取り組みを行い、その内容を保護者のみなさんに情報発信していきたい。</p>	対象者	R4	R5	児童	90	85	保護者	90	85	教職員	95	95
対象者	R4	R5											
児童	90	85											
保護者	90	85											
教職員	95	95											

○人権をテーマにした（集団づくり）に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観（道徳含む）



全国学力・学習状況調査結果より

アンケート結果から、人権教育については、昨年度より児童の肯定的な回答がやや増加したが、保護者のみなさんや教職員はやや減少している。教職員が一丸となって取り組んでいる機運を高めつつ、保護者の方々にも取り組みの内容を実際に参観いただいたり、取組みに参加したりしていただく機会を設けていきたいと考えています。



また「自分にはよいところがあると思いますか」ということについて、例年本校の児童は肯定的意見が全国平均を下回っていたが、今年度は上回る事ができた。この項目については、学年毎に多少の差がみられるが、全体的に少しずつ上昇してきている。今後も自分も他人も大切にしながら、自分自身の長所も短所も理解し、自分をまるごと肯定的に受け止められる児童の育成に努めていきたいと考えている。



○児童会を中心とした挨拶運動・新しい光小遊び祭り企画・運営

- ・年間2回程度、募金活動と合わせて行うことができた。
- ・児童会が中心となって、1月にこれまでやったことのない「新しい光小遊び祭り」を企画・運営。委員会毎に遊びのブースを担当してもらい、縦割り班で1年～6年までが班ごとに分かれて、それぞれのブースを楽しんだ。

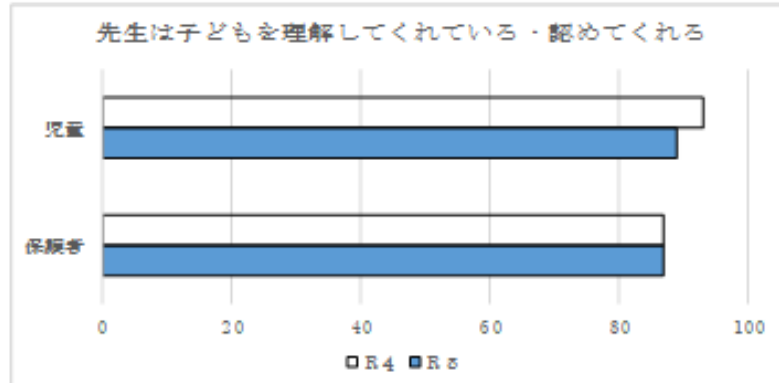
○係活動や委員会活動等を通した学校の美的環境づくり

- ・清掃美化委員会の活動として、各学級の清掃当番の活動ぶりを定期的に評価し、放送で伝えている。清掃活動の励みになっていた。

○花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通した「いのちの教育」の推進

- ・学級畑を活用して、さつまいもやヤーコン等を育て収穫することができた。

○支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施



アンケート結果から、「先生の子ども理解について」は、昨年度より児童の肯定的な回答が減少している一方で、保護者のみなさんの評価は昨年とほぼ同様。保護者のみなさんには一定の評価はいただいているが、一人ひとりの児童の個性を理解し、その子に応じた対応を児童自身がしっかり感じられるような取組みをさらに進めていきたい。また、支援教育においても、一人ひとりのニーズに応じた教育をオーダーメイドでつくっていくことが求められている。現在、児童の課題に合わせた支援を行い、励まし、育んでいくことを進めている。今後は「子ども理解」の土台に「支援教育」をしっかり位置付け、その子に応じた対応のさらなる質の向上をめざしたい。

○スクール・ソーシャルワーカー等関係機関と連携したケース会議（面談）の実施

- ・配慮を要する児童や保護者を対象に、定期的に学年団で協力しながらケース会議（面談）を行った。
- ・ケース会議によって、SSW（スクール・ソーシャルワーカー）にも一緒に入ってもらい、専門的な知見を活かしながら保護者支援、児童支援を行った。
- ・1学期と3学期に、個々のケース会議の中から、学校全体で共有すべき内容を選び、教職員全員で「全体ケース会議」を行った。
- ・SC（スクール・カウンセラー）には、各学級の様子を巡回しながら個々の精神状況を把握。5・6年生向け、PTA 向けの講話（ストレスマネジメント）を行っていただき、「心の専門家」から具体的な対応の仕方を学ぶことができた。



○『平和学習週間』

- ・月最終週から始まる2学期初めに合わせて、どの学年でも「平和を考える」時間を設けて取組みを進めており、今年度も各学年に応じた平和学習を行った。この時期に合わせて、戦争に関する写真や絵を廊下掲示したり、図書館に「平和学習」につながる本の掲示をしたりすることにも取り組んだ。

④ 学校関係者評価 (学校協議会等 からの提言)	<p>○：新しい光小遊び祭りで縦割り班を導入したのは良かったと思います。子ども会参加も減少している昨今、上下学年の交流の機会を増やしたのは意味があると思います。</p> <p>○支援学級の子どもたちと普通学級の子どもたちが同時に学ぶ経験は実は普通学級の子どもたちの将来にとっても宝になります。多様性社会の経験の第1歩です。保護者の皆様にもわかっていただきたいです。</p> <p>○先生方の取組みが児童の自己肯定感を高める要因になっていると感じる。</p> <p>●：児童会行事は、3学期の寒い時期でインフルエンザやコロナが心配される時期ではなく、2学期等で検討されてはどうか。</p> <p>☞：あいさつ運動は、コミュニケーション能力の向上につながる。そうした力の向上が学校生活をお互いに楽しくなる方法の一つだということを見事に実感させていってほしい。</p>
--------------------------------	---

○：高評価 ●：課題 ☞：提言

令和5年度(2023年度) 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書 (その3)

① 設定目標	保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携 (安心・安全) (開かれた学校づくり)
② 本年度の 取り組み 状況	<p>【安心・安全】</p> <p>① 安全立ち番、地区集会と集団下校訓練</p> <p>② <u>地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードによる定期的な登下校見守り活動</u></p> <p>③ 安全マニュアルの作成と各種避難訓練、防犯教室(5～6年)、不審者対応訓練(教職員)の実施・災害発生時対応用「緊急カード」作成、保護者引取り訓練の実施(幼稚園と連携して実施)</p> <p>④ 救急救命講習(AED講習会)</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス5類移行後の対応 手洗い・うがい・換気(必要に応じてマスク)</p> <p>【開かれた学校づくり】</p> <p>① <u>学校情報の地域への発信・授業参観3回(ハイブリット形式)、学校公開、学級懇談会4回、個人懇談会2回・学校だよりの地域、議会、サポーター等関係者への回覧</u> <u>コードモンの活用・学校ホームページ情報更新</u></p> <p>② <u>サポートボランティアや学生サポーターの授業支援活動</u></p> <p>③ 学校教育自己診断の実施 報告資料(学校改善を含む)の作成、配布</p> <p>④ 学校運営協議会(月1回)・学校協議会(年3回)・学校保健委員会(年2回)の開催</p> <p>⑤ 地教協や青育協やPTAと連携した「ふれあいのつどい」「秋の日のつどい」への参加</p> <p>⑥ 学校支援地域本部の設置、地域学校協働活動推進員を中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」の活動</p> <p>⑦ 行事、奉仕活動などPTAと連携した学校の活性化、<u>コードモンの活用促進</u></p> <p>⑧ 保・幼・小・中との連携 ・保幼小交流会、中学校体験入学</p> <p>⑨ <u>「とよの未来科」の推進—地域の方と一緒に学んだり、校種間連携を学んだりする。</u></p>

【学校教育自己診断および全国学力・学習状況調査より】

(安心・安全)

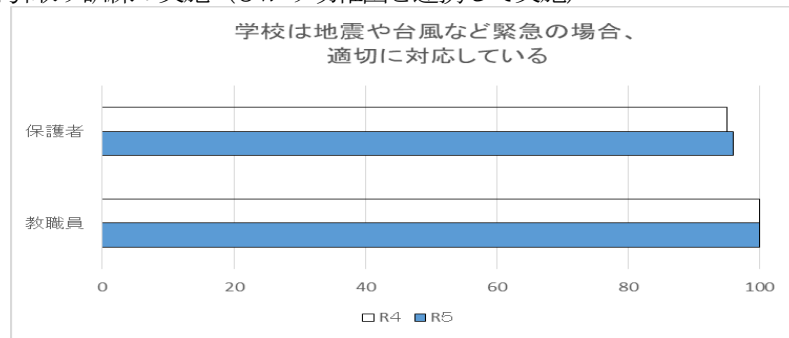
- 正門ならびに裏門の安全立ち番、地区集会と集団下校訓練
 - ・正門ならびに裏門の立ち番については、管理職で行った。
 - ・地区集会と集団下校訓練については、年間予定通り、学期ごとに行った。
 - ・登校班についての保護者や児童からの要望はいくつかあるが、「登校班を継続してほしい」というご意見をもとに、工夫しながら令和6・7年度と行っていきたい。

- 地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードリーダーによる定期的な登下校見守り活動

- ・地域住民、民生委員、スクールガードリーダー等の皆様の協力を得て、児童の登下校の見守り活動を年間通して行うことができた。
- ・今年度もたくさんの見守り隊のみなさんに大変お世話になった。また、みなさんに年度初めと年度終わりに学校へお越しいただき、子どもたちからご挨拶と感謝の気持ちを伝えることができた。



- 保護者引取り訓練の実施（ひかり幼稚園と連携して実施）



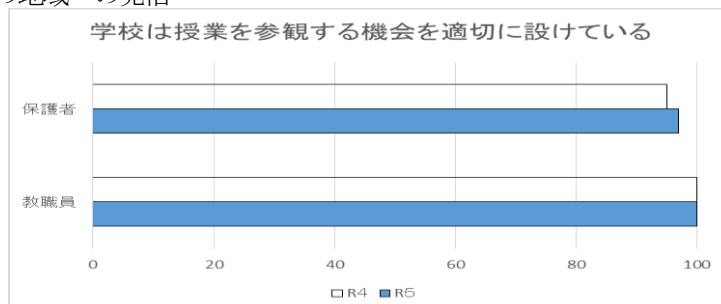
アンケート結果から、緊急時の対応について、連絡や訓練等について概ね評価が高かった。今年度も、保護者引き渡し訓練は、熱中症予防を考えて、6月7日（水）に「ひかり幼稚園」と合同で行うことができた。緊急時に備えたより地域の実態にそった取組みとなった。来年度は、新光風台の地域防災会と連携をして、地域での見守りを行っていただく予定。地域全体でさらなる防災意識を高めていきたい。

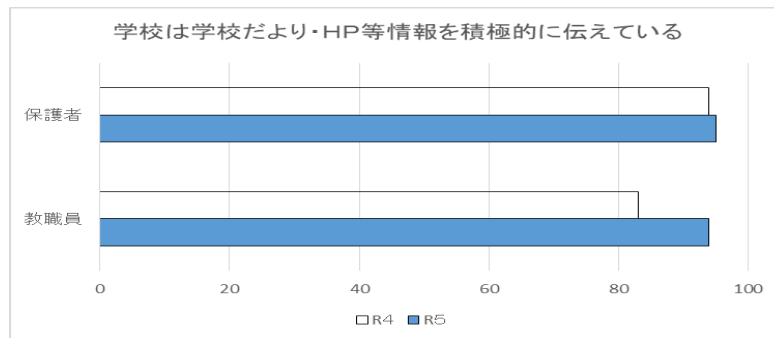
- 救急救命講習

- ・町教委主催の講習会へ本校教職員が数名程度参加。水泳指導前に、講習会に参加した教職員から校内でその他の教職員への伝達講習を行った。

(開かれた学校づくり)

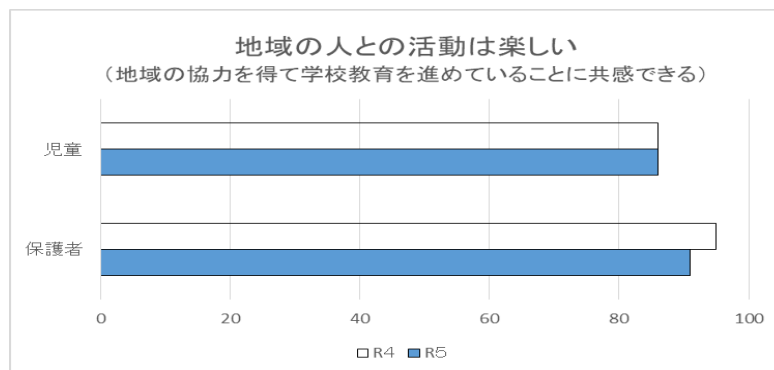
- 学校情報の地域への発信



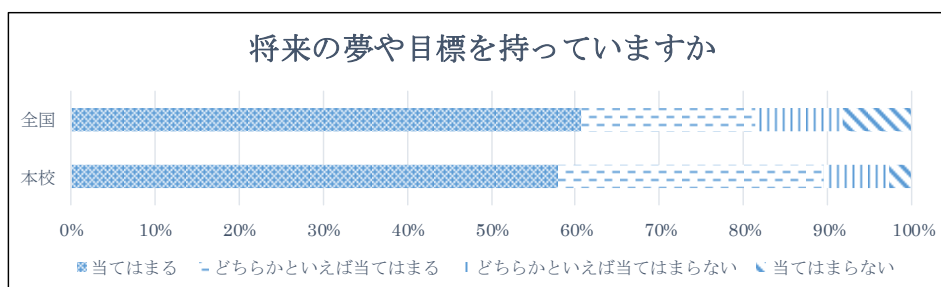


アンケート結果から、「授業参観の機会」や「学校だより」、「ホームページ」等の情報については、昨年度以上に保護者のみなさんの肯定的意見が増加した。授業参観については、「ZOOM」を活用したハイブリット参観授業（来校とリモートを併用した参観授業）年間3回行った。この方法等が一定保護者のみなさんから評価いただいたと考えている。また、学校だよりやホームページについても学校の取組みをできるだけ保護者の方々にお伝えすべく積極的に発信していくことを心がけた。さらに今年度から「コドモン」を導入して、PTA活動の簡素化に加えて、さらに保護者の方々に情報が伝わりやすく、学校と保護者が連携しやすい連絡体制づくりを行うことができた。今後さらに不審者情報や学校の様子についても積極的発信していきたい。

○サポートボランティアや学生サポーターの授業支援活動



アンケート結果から、地域の協力を得て学校教育活動を進めていることに児童は昨年度とほぼ同様、保護者はやや肯定的意見が減少した。今後の義務教育学校開校へ向けて、「学校運営協議会」という組織とさらなる連携・協力を進めながら、これまでお世話になっている「学校協議会委員」や地域のみなさん、学生サポーター等の力を学校教育活動に積極的に関わっていただけるシステムを構築し、「とよの町が大好き」と思える児童を育てていきたい。



全国学力・学習状況調査結果より

③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容

また、例年全国学力・学習状況調査にて、全国に比べて肯定的意見が低い「将来の夢や目標を持っていますか」の項目。今年度は、肯定的な回答が全国平均を上回った。これまで地域やさまざまな年代の方々に関わっていただいていたこと等が一人ひとりの将来の夢や目標を持つことにつながってきているのではないかと考えています。また、今後も学級の仲間、教員、保護者の方々と一緒に取り組みを行う中で、児童が自分自身のことをふり返ったり、これから先のことを考えたり、計画を立てたりすることの場や時間を保障し、将来の夢や目標を持ち続けられる児童を育てていきたいと考えている。

○学校教育自己診断の実施 報告資料（学校改善を含む）の作成、配付。

- ・管理職で報告資料をまとめ、先生方と共有した上で、年度末の3月に保護者への配付、HPへのアップを行った。忌憚のない意見をいただき、来年度にむけて学校経営の改善点を考える参考となった。

○学校協議会・学校保健委員会の開催（年3回の学校協議会と年2回の学校保健委員会）

- ・年度初めに第1回の学校協議会・学校保健委員会を開催。2回目も全国学力・学習状況調査結果等についてご意見をいただいた。3回目は学校教育自己診断ならびに学校評価について貴重なご意見をいただくことができた。

○地教協や青育協やPTAと連携した、ふれあいのつどい、秋の日のつどいへの参加

- ・「ふれあいのつどい」（地域教育協議会主催）4年ぶりに開催。5・6年生が舞台上ソーラン節の踊りを披露した。また、PTA役員のみなさんが「ストローとんぼ」作成のブースを開設してくださり、たくさんの来客者にお越しいただいた。
- ・「秋の日のつどい」（青育協主催）は、本校運動場を利用して行うことができた。ゲームコーナーの種類を限定して行い、約70名程度の子どもたちが参加して、ストラックアウトやスリッパ飛ばし等ゲームを楽しんだ。



○学校支援地域本部の設置、地域学校協働活動推進員を中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」

- ・「わくわく教室（町放課後事業）」は、原則「火・金」曜日に開催。4年生から6年生を対象に運動場での外遊びと雨の日は体育館遊びか教室で学習するという形で行った。

○保・幼・小・中との連携

- ・保・幼との交流会を学期に1回計画（年間3回）。事前に交流内容を検討し、実施することができた。またひかり幼稚園と運動遊びを通した体力づくりの研究を始めて、今年で2年目。今年度も研究テーマを「柔軟性」として、幼稚園から小学校への学びの連続性を大切にしたい運動遊びを取り入れ、合同での体育授業を年間3回行うことができた。今年度の取り組み内容を小・中学校の授業づくりに生かしていただけるよう、提案していくことを考えている。



小・中連携では本校の小学6年生が吉川中学校で生徒会の話の聞いたり、実際に中学校の先生方と授業をしたりする「体験入学」に参加した。

	<p>○「とよの未来科」の推進 今年度から「とよの未来科」の本格実施となった。これまでの地域学習から一歩進めて、「豊能町のよりよい未来」を自分事として考えながら、「豊能町のことを学ぶ」学習を学年毎に進めることができた。そうした中で、本校の2年生は西地区3校の合同学習を余野川で行うことができ、交流を進めることができた。今後はその他の学年でも同様の取組みを検討していきたい。</p>
<p>らの提言 ④学校関係者評価 (学校協議会等か</p>	<p>○：将来の夢や目標を持っている子どもたちが増えてきたのは快挙だと思います。 ○：とよの未来科が今まで無かったのが不思議ですが、できてよかったです。どの地域でも特産や伝統的なお祭りや文化があるのですが、新興住宅地だけにこれといったものがなかったのですね。遠足で遊園地に行くより古くからの神社仏閣をめぐってもいいですね。(豊能町だけでなく能勢町まで足を延ばしてもいいですね。)この地域を支えるインフラやシステムを実際に見学するのもいいですね。 ○：地震避難訓練を昼休みに行っておられるのは、素晴らしいと思った。地震はいつ起こるか分からないので、様々な時間帯で取り組んでいくことがよいと思う。 ●：学生サポーターを学校に呼びこめるように大学と連携してはどうか。 ●：義務教育学校に向けて、各校種間の交流をさらに進めていく必要があるのではないかと。 ☞：学生サポーターをもっと各大学に売り込んではいかががでしょうか。研究も盛んで、先生方も優秀、児童もお行儀が良いなど教育実習に最適の環境だと思います。</p>

○：高評価 ●：課題 ☞：提言